

羽生市立小中学校適正規模審議会 協議経過

令和6年12月12日（木）

1 第1回会議（令和5年2月24日）

（配布資料）

- 資料1 羽生市附属機関設置条例・羽生市立学校適正規模審議会規程
- 資料2 諮問書
- 資料3 第1回羽生市立学校適正規模審議会（西・南中学校区）
- 資料4 羽生市公共施設個別施設計画（抜粋）
- 資料5 答申書（令和3年11月8日）
- 資料6 羽生市立小中学校適正規模・適正配置に関する基本方針

（会議の概要）

○羽生市立学校適正規模審議会（西・南中学校区）への諮問内容について説明

令和6年度までを目途に、ゼロベースで再検討することとなっている西・南中学校区の小学校の再編成について基本方針を作成する。

○学校の再編成の目的と基本的な考え方等について説明

○各委員に、個人又は所属団体で再編成の案を考えていただき、次回の会議で発表することとした。

2 第2回会議（令和5年5月30日）

（配布資料）

- 資料1 小学校校舎に収納可能な学級数
- 資料2 羽生市立小中学校適正規模・適正配置に関する基本方針（抜粋）
- 資料3 グループ分け名簿

（会議の概要）

○5つのグループに分け、各委員の再編成案について意見交換し、発表した。

○「羽生市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針（令和4年3月策定）」についての意見が多くあった。

そのうち、具体的な適正規模・適正配置計画に関する意見は、次のとおりであった。

- 新郷第一小を残し、岩瀬小と川俣小の一部を入れる。
- 新郷第二小を岩瀬小と再編成する。
- 新郷地区として、中学校区の変更には反対する。小学校は残せるなら残したい。
- 再編成の際、学区の境目にいる子どもたちは選択できるようにしてほしい。
- 小学校の再編成では、選択できる地域をある程度増やし、自由に選べるのが良い。

3 第3回会議（令和5年7月27日）

（配布資料）

- ・ 第3回会議の協議資料（第2回会議の意見の集約）

（会議の概要）

○第2回会議で出された意見をもとに、5つのグループに分かれて意見交換し、発表した。

○グループ発表ののち、次回会議に向けて次のことを確認した。

- ・ 1学年15人など人数でラインを引く意見もあり、引き続き協議する。
- ・ 学区をまたぐ登校の条件の緩和については、確認する。
- ・ 再編成案として出された意見について、仮に具体的な案として進めた場合の児童数や学区の広さを提示する。
 - ①新郷第一小を残し、岩瀬小と川俣小の一部を入れる。
 - ②新郷第二小と岩瀬小の再編成
 - ③羽生北小と川俣小の再編成

4 第4回会議（令和5年10月5日）

（配布資料）

- 資料1 具体的な計画案検討図
- 資料2 令和11年度大字別児童数見込み

（会議の概要）

○第3回での意見から、以下の案について、令和11年度時点での児童数及び学区の広さ、各小学校の収容可能な学級数を確認し、全体で意見交換を行った。

- ①羽生北小、川俣小を再編成する。
- ②新郷第一小に、川俣地区・岩瀬地区の一部を編入する。
- ③岩瀬小、新郷第二小を再編成する。
- ④学区を再検討する。

○課題等が多く出されたが、特に具体的な計画案について決定するものはなかった。

5 第5回会議（令和5年12月20日）

（配布資料）

- ・ 第5回会議について（第4回会議の課題の整理）
- ・ 第4回会議録

（会議の概要）

○第4回で出された課題を整理し、引き続き以下の案について4つのグループに分かれて意見交換し、発表した。

- ①羽生北小、川俣小を再編成する。
- ②新郷第一小に、川俣地区・岩瀬地区の一部を編入する。
- ③岩瀬小、新郷第二小を再編成する。
- ④学区を再検討する。

○羽生北小と川俣小の再編成については、2グループから進めるべきとあったほか、他の再編成案も提示された。

- ・ 岩瀬小、新郷第一小を再編成する。
- ・ 須影小、新郷第二小を再編成する。

6 第6回会議（令和6年2月15日）

（配布資料）

- ・資料1 第6回会議について（第5回会議の意見集約及び課題の整理）
- ・資料2 西・南中学校区 小・中学校位置図

（会議の概要）

○第5回までの意見から、以下の案について課題を整理し、4つのグループに分かれ意見交換し、発表した。

- ①羽生北小、川俣小を再編成する。
- ②新郷第一小に、川俣地区・岩瀬地区の一部を編入する。
- ③岩瀬小、新郷第一小を再編成する。
- ④岩瀬小、新郷第二小を再編成する。
- ⑤須影小、新郷第二小を再編成する。
- ⑥学区を再検討する。

○羽生北小、川俣小の再編成を進めること、学区を再検討することを決定した。新郷第一小、新郷第二小に係る再編成については、多くの案が出されたが、統一した意見にはならなかった。

7 第7回会議（令和6年5月9日）

（配布資料）

- ・資料1 第7回会議について（第6回会議の協議結果及び意見の整理）
- ・資料2 児童数の推移
- ・資料3 小・中学校位置図

（会議の概要）

○第6回までの意見から、主に新郷第一小、新郷第二小に係る再編成について、全体で意見交換を行った。

- ①新郷第一小を残し、隣接する地区の学区を再編成する。
- ②新郷第一小と羽生北小を再編成する。
- ③新郷第一小と岩瀬小を再編成する。
- ④岩瀬小を分け、中学校区に併せて須影小、羽生南小、新郷第一小に再編成する。
- ⑤新郷第二小は、岩瀬小、須影小と再編成する。
- ⑥新郷第二小と須影小の再編成のため、羽生南小の学区を再編成する。
- ⑦新郷第二小の再編成を当面見合わせ、羽生南小、岩瀬小、須影小の学区の再編成を先に進める。

○新郷第一小と新郷第二小に係る再編成案について絞り込み、再度協議することとなった。

8 第8回会議（令和6年7月11日）

（配布資料）

- ・第8回会議について（第7回会議の協議の整理）

（会議の概要）

○第7回の意見から、新郷第一小、新郷第二小に係る再編成について意見交換を行った。

- ①新郷第一小と岩瀬小を再編成する。新郷第二小は、岩瀬小、須影小と再編成する。
- ②新郷第一小と羽生北小を再編成する。新郷第二小は、岩瀬小と再編成する。
- ③新郷第一小と羽生北小を再編成する。新郷第二小は、岩瀬小、須影小と再編成する。
- ④新郷第一小を小規模特認校として残す。新郷第二小は、岩瀬小と再編成する。
- ⑤新郷第一小を小規模特認校として残す。新郷第二小は、岩瀬小、須影小と再編成する。

○新郷第二小は、岩瀬小と下新田地区、須影小と下新郷地区を再編成し、新郷第一小は小規模特認校として残すか、岩瀬小と再編成するかの案となった。

○アンケートの実施に当たり、次回内容を協議することとなった。

9 第9回会議（令和6年8月22日）

（配布資料）

- 資料1 西・南中学校区の小学校再編成に関するアンケート実施要領（案）
- 資料2 保護者アンケート（案）
- 資料3 児童アンケート（案）
- 資料4 小学校の再編成方針（案）

（会議の概要）

○第8回までに出された基本方針案について、アンケートの内容について意見交換を行った。

○次の基本方針案について、児童・保護者にアンケートを実施することとなった。

- ①羽生北小と川俣小を再編成する（校舎は羽生北小を使用）。
- ②新郷第一小と岩瀬小と再編成する（校舎は岩瀬小を使用）。
- ③新郷第一小を小規模特認校として残す。
- ④新郷第二小のうち下新田地区と岩瀬小を再編成する（校舎は岩瀬小を使用）。
- ⑤新郷第二小のうち下新郷地区と須影小を再編成する（校舎は須影小を使用）。
- ⑥羽生南小は当面再編成をしない。

10 第10回会議（令和6年11月7日）

（配布資料）

- 資料1 基本計画案（全体）に係るアンケート結果等について
- 資料2 各小学校再編成案に係るアンケート結果等について
- 資料3 再編成時期に係るアンケート結果について
- 資料4 保護者アンケート回答率について
- 資料5 令和3年11月8日付け答申書写し
- 資料6 西・南中学校区 小学校の再編成方針（案）

（会議の概要）

- 9月に実施したアンケート結果を基に、審議会としての意見をまとめるため、意見交換を行った。
- 協議の内容により、答申案の案を作成し、次回凝議することとなった。

11 第11回会議（令和6年12月12日）

（配布資料）

- 資料1 羽生市立小中学校適正規模・適正配置に関する基本方針案について（答申）（案）
- 資料2 小中学校適正規模・適正配置計画（案）
- 資料3 通学区域図（案）
- 資料4 令和5年2月24日付け諮問書（写）

（会議の概要）